



大塚だより

大田区立調布大塚小学校

校長 玉野 麻衣



自分の「こだわり」を大切に探究する

校長 玉野 麻衣

夏季休業中は、三者面談へのご協力ありがとうございました。「イノベーション・シート」を使って、1学期の成果や2学期に向けての課題など、こどもたちは自分のことばでアウトプットすることはできたでしょうか。分かっていても、改めてことばにするとうまく表現できないことは、大人になってもあることではないでしょうか。私たちは、言葉にしてみても（アウトプットしてみても）うまく表現できないことは、あまり分かっていないこと、と捉えています。言い換えれば、自分のことばでアウトプットできているということは、意味理解できているということ、自分のことを自分のことばでアウトプットできることで、深い自己理解やメタ認知につながります。こどもたちの2学期の成長も楽しみです。

さて、少し前のことになりますが、6月8-9日、東京大学で国際シンポジウムが開催されました。「越境する教育コミュニティの構築：教育実践者と研究者の互恵的パートナーシップの実現」をテーマにしたシンポジウムで、本校からも「教育実践者」として主任教諭2名が、1日目のポスター発表に参加してくれました。本校では、大きなテーマを掲げて校内研究を組織的に推進していますが、その中でも、教員一人一人が自分の専門を高めるために必要なことを追究したり、こだわりポイントを追究したりしながら、自分なりの研究テーマを深掘して資質・能力を高めていく姿勢を持っています。自己を研鑽することは、相互への啓発にもつながり、こどもたちのための質の高い豊かな教育につながります。また、こどもたちが、自分のこだわりを大切に、探究できる学習環境の充実を図っていきたいと思います。2学期も引き続き、ご協力よろしくお願いいたします。

教員室前の掲示板には、国際シンポジウムでの発表ポスターを掲示しています。来校の際はぜひご覧ください。

9月の生活目標

「学校の決まりを守ろう」

○学習のルールや校内での過ごし方を確認し、時間を守って2学期の学校生活を気持ちよくスタートできるようにしましょう。学校生活の始まりに不安がある場合は、先生方に話しましょう。

9月の保健目標

「けがに気をつけましょう」

○残暑厳しい日が続きますが、9月も後半になれば涼しい日も増えてきて外で活動する機会も増えてきます。大きなけがにつながらないよう落ち着いた学校生活を送りましょう。水分補給も忘れずに。

○ 9日（月）～13日（金）エールウィーク

自分のよさや友達のよさを見付け、学級の仲を深めることを目的に取り組みます。

○ 3日（火）～11日（水）夏休み作品展

夏季休業期間中につくったり追究したりした作品を校内に展示・鑑賞し、努力や成果を学び合います。

○ 汗拭きタオル・水分の準備について

体育発表会の練習が始まります。練習がある日は、大きめの水筒、汗拭きタオルの用意をお願いします。

1年生より

1年担任

1学期を通して、学校での生活にも慣れ、見通しをもって行動する場面が多く見られるようになりました。休み時間は、校庭、教室、図書室など子どもたち同士で声を掛け合って、思い思いに過ごしています。遊びに夢中であっても、時計や周りの様子を見て行動できるようになっています。給食当番やクラスの仕事にも張り切って取り組んでいます。授業では、友達と一緒に学ぶ良さを感じているようです。

2・3学期にも、1年生にとって初めてのことがたくさんあります。さまざまな学習や多くの経験を通して、子どもたちがたくさんの人と関わり、学校を楽しんでいると感じるとともに、心身ともに大きく成長していくことができるよう、励まし、指導していきます。

研究部より

研究主任

本校では、これからの社会を生きていくためには、「変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」が必要だと考え、様々な場面でその力の育成を図っています。そこで重要な役割を果たしているのがイノベーション・シートです。「私たちが実現したい未来」の実現のために必要な力について解説し、意識して行動できるようにしています。三者面談では、なぜそれを選んだのか、なぜそう評価したのかを自分の言葉で説明する姿が見られたと思います。「自分はすぐにあきらめてしまうところがあるから、『最後まであきらめない』を選びました。」「お勉強をするときはいつでも自分の考えをもつことと、友達の考えもよく聞くことを意識してできました。例えば…」などと話す子どもたちの姿に感心しました。

三者面談で持ち帰っていただいたイノベーション・シートの保護者の欄には、お子さんが「自ら考え、行動し、振り返り、生かす」ことを頑張れるように、認め励ます「おうちの方からお子さんへのメッセージ」をご記入ください。

音楽室より

音楽専科

音楽の授業では、歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりの4つの領域を学習します。それぞれの領域から、音楽の考え方を学び、音楽で表現するよさや楽しさを実感できたらと思います。

低学年 1年生は、校歌を覚えました。「校歌を歌いたい！」「見ないで歌える！」と自信満々な1年生。歌声も揃うようになり、互いの声をよく聴いて歌えています。2年生の鍵盤ハーモニカでは、「かっこう」の鳴き声や様子から、息やタンギングの仕方を工夫し、表現の幅が広がりました。

中学年 3年生は、リコーダー学習が始まりました。「できた！」「発表したい！」「一人で演奏したい！」など、みんなの前でも堂々と演奏したいという意欲が素晴らしいです。4年生の音楽づくりでは、グループで好きな4文字の言葉を考え、音楽の仕組みを使って、音楽を作りました。仕組みを工夫すると伝えたいことがより伝わり、各グループ個性あふれる音楽となりました。

高学年 5年生は、二部合唱「いつでもあの海は」で、様々な音の重なり方のあることを学習しました。声を合わせることに苦戦しつつも、今までとは違った視点で歌い、合唱を楽しみました。6年生は、「木星」を鑑賞し、主な旋律が色々な楽器に引き継がれていくことや、楽器が増えていく音の響きを感じ取りました。映像で確かめながら聴くと、「本当だ！」と気付くことができ、聴き方が変わりました。